

はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び



# 三角帆

<みんなのめあて> ～がんばる・考える・思いやる～

平成29年度  
別海町立野付小学校  
学校だより No.13  
平成30年3月23日  
発行責任者  
校長 山本 尋子

## ●●●●●●●●●● 家族の絆 ●●●●●●●●●●

～やさしさと、厳しさと、ぬくもりと～

本日3月23日の修了式をもって、今年度の教育活動を終了することとなります。保護者の皆様、地域の皆様にはたくさんのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

19日の卒業式では、16名の卒業生が巣立ちました。委員会、クラブ活動、運動会、縦割り班活動など学校の様々な行事のなかで、いつも全校のよきリーダーとして頑張り、活動してくれた6年生。企画から実行まで、自分たちで考え進めていく姿は、次に続く5年生・4年生にとってとても良い手本になってくれたばかりではなく、6年生自身の成長にもつながっていきました。それを支えて下さったのが、家庭であり、家族の存在です。

子どもは地域の自然、文化、そして人の愛情に育まれ成長していきます。けんかをして仲直りをする中で人とのかかわり方を学び、思い通りにならないことがあって、我慢する心が育ちます。こうした子どもの育ちの根底にあるのが家庭の愛情による安定感、安心感です。多少の困難にぶつかっても、愛されているという安心感があれば、それを乗り越えさらなる自信や意欲を持ち、自分や周りの人の良さに気づいて大切にしようとしめます。そして、我慢する心も生まれるのです。

家庭は活力源です。「家族の絆」という深い愛情を受け育ってきた子ども達は、自分に自信を持ち、そして自分を大切にするように学校でも友達を大切に、共に学び、共に競い合い、共に成長していきます。

卒業した6年生にも、それを送る在校生にも、こうした「家族の絆」があったからこそ、日々の成長があり、卒業・修了の時を迎えることができました。いつもは優しいお父さんお母さんもしてはいけないことをしたら、厳しく叱り正しい道を示してくれる。困った時には話を聞いてくれる。頑張らなきゃいけない時には応援してくれる。そんな心の安定する場所があってこそ子ども達の成長です。

どうぞこの1年間の子供達の成長を、子供達と一緒に話ししてみてください。できるようになったこと、新しく覚えた知識、我慢する心・友達を思いやる心、みんなで仲良く頑張っていてやり切った楽しさ、そんな諸々の事が一杯子供達の中にあふれていると思います。その軌跡をたどり、春休みは次の学年へのステップアップの期間にさせていただきたいと思います。

保護者の皆様にはこの1年間、本当にお世話になり、ありがとうございました。次年度も職員一同、全力で取り組んでいきたいと思ひます。本年同様のご理解ご協力をお願いいたします。

校長 山本 尋子

